



2022年9月5日

各 位

会社名 株式会社トーホー
代表者 代表取締役社長 古賀 裕之
(コード番号 8142 東証プライム)
問合せ先 取締役 財務部担当 佐藤 敏明
(TEL 078-845-2431)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年6月10日に公表いたしました連結業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年1月期第2四半期連結累計期間 業績予想数値の修正(2022年2月1日~2022年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 96,200	百万円 400	百万円 500	百万円 150	円銭 13.94
今回修正予想 (B)	100,000	1,200	1,400	600	55.78
増減額 (B-A)	3,800	800	900	450	
増減率 (%)	4.0	200.0	180.0	300.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期第2四半期)	89,786	△1,113	△734	△770	△71.61

(2) 2023年1月期通期連結 業績予想数値の修正(2022年2月1日~2023年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 201,000	百万円 1,200	百万円 1,350	百万円 400	円銭 37.19
今回修正予想 (B)	207,000	2,100	2,300	900	83.67
増減額 (B-A)	6,000	900	950	500	
増減率 (%)	3.0	75.0	70.4	125.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	188,567	△446	178	335	31.20

(3) 修正の理由

2023年1月期第2四半期連結累計業績予想および同通期連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計業績を踏まえたうえで見直しを行いました。業務用食品卸売事業を中心に想定を上回る業況の改善が進み、前回予想に比べ増収、増益となる見通しとなりました。

そのため、2023年1月期第2四半期連結累計業績予想および同通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、当下半期の見通しにつきましては、前回同様にウイズコロナが社会全体でさらに浸透し、当社グループの主要な販売先である外食事業者の経営環境も緩やかに回復して一定の落ち着きを取り戻すものの、電力価格の上昇等当初見通しを上回るコストアップや一部事業の業績回復が遅れている点を考慮して算出しております。

2. 配当予想の修正

(1) 2023年1月期 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2022年6月10日発表)	円 銭 5.00	円 銭 5.00	円 銭 10.00
今回修正予想	10.00	10.00	20.00
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (2022年1月期)	0.00	5.00	5.00

(2) 修正の理由

当社は、事業活動を安定的に継続する上で維持すべき適正な資本構成を勘案し、ネットD/Eレシオ（純有利子負債／純資産）が0.7～0.9倍程度で推移する状況において、中期的に配当性向40%程度を維持する方針の下で安定配当を実施しております。

2023年1月期の配当につきましては、上記1.に記載のとおり、第2四半期累計で親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を上回る見通しとなったことから、2023年1月期第2四半期末配当を10円、期末配当を10円にそれぞれ修正することといたしました。

これにより、1株当たり年間配当金額の見込みにつきましては、10円から20円といたします。

今後も継続的な企業価値の向上に努め、財務体質の強化と将来の事業展開並びに投資計画等を勘案し、内部留保および利益配分を決定してまいります。

※上記の業績予想および配当予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上